

進路実現に向けた3年間の流れ

◆1年◆

1学期

- ・学習習慣や基本的生活習慣をリセットして、落ち着いて高校生活をスタートさせる。
- ・適性検査などを通じて自分自身に対する理解を深め、将来や職業、進路選択について考える。
- ・模試の意義、模試への準備、模試の活かし方を理解し、今後の学力伸長につなげる。

2学期

- ・望ましい学習習慣や基本的生活習慣が定着したか、自己点検を行う。
- ・進学か就職か、四年制大学か専門学校かといった進路選択について、考えを深める。
- ・準備をして模試に臨み、受験後は事後の学習を行う。

3学期

- ・望ましい学習習慣や基本的生活習慣が継続できているか、自己点検を行う。
- ・進路の一つとして進学を想定した調べ学習を行い、進路選択の視野を広げる。
- ・1学期や2学期の評定をもとに目標を定め、1年間をしっかりと締めくくる。

◆2年◆

1学期

- ・自分に合った学習方法を見つける。また、ゴールを見据えた大まかなスケジュールを立てる。
- ・自己理解を深め、オープンキャンパスに向けて準備を行う。
- ・社会に目を向け、社会の中で自らが果たすべき役割について、考えを深める。

2学期

- ・オープンキャンパスでつかんだ情報を全体で共有し、さまざまな可能性に目を向ける。
- ・分野の絞り込みと志望校の検討を行い、志望理由書の作成に着手する。
- ・1年先を見通して、自分に合った実行可能な進路目標達成計画を立てる。

3学期

- ・3年0学期として進路意識を高め、進路目標達成計画を実行に移す。
- ・志望理由書の作成を通じて、就職や進学に必要な総合力を高める。※この時期に必ず保護者に意思を伝える
- ・具体的に進路先を考え、模試や評定などの目標を設定して、その達成に努める。

◆3年◆

1学期

- ・あらためて学習習慣や基本的生活習慣が確立できているか、自己点検を行う。
- ・計画の進捗状況を点検し、必要に応じて計画変更などの調整を行う。
- ・あらゆるケースを想定したシミュレートしておく。

2学期

- ・基本的生活習慣が乱れないように、また健康に十分注意を払う。
- ・焦らず着実に計画を進める。また面談などの機会を通して不安を取り除く。
- ・進路決定者は資格取得など新たな目標にチャレンジする。またクラスの仕事に積極的に取り組む。

3学期

- ・現役生は最後まで学力が伸びること、遅い時期の受験ほどチャンスが広がることを信じて頑張る。
- ・個別指導を最大限に利用して答案作成力に磨きをかける。
- ・進路決定者はクラスの仕事などに積極的に取り組み、3年間をしっかりと締めくくる。